

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名：日本語日本文化教育センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		短期留学生日本語日本文化特別プログラムの定員を60名から80名に拡大させたり、ルーブリックの導入により、学生が到達目標・到達度がわかるようになるなどの改善を行っている。こうした取組により、大学全体の留学生の受入れの拡大に寄与していることが評価できる。 さらに、日本語等の予備教育を実施した留学生に対して、追跡調査を実施し、カリキュラム改善の検討に活かしていることが評価できる。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		教育関係共同利用拠点として、他大学の留学生の受入れや、日本語教育を専攻する学部生・大学院生の教育実習の機会を提供しており、7大学から延べ85名の実習生を受け入れたことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		325名の留学生を受け入れるとともに、他の学部や大学院に所属する多くの学生にも授業を提供して全学の留学生教育に貢献していることが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2：「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

【評価コメント】

所属教員向けに科研費についての説明会を開催し、科研費助成事業についての最新の情報を提供することで科研費応募件数の増加に取り組み、実績を向上させていることが評価できる。
また、公開講座等の実施についても実績を上げるなど積極的な取組が評価できる。